

■日時 平成27年8月18日(火) ■天候 曇のち晴れ

横浜市立戸塚高校 対 京都府立朱雀高校

■球場 明治神宮野球場 第4試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 2時間13分 ■備考

■審判 球審:服部 塁審:山田 家田 宇田川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
朱雀	京都	0	1	3	0	0	1	0	0	0	5	5	3
戸塚	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4	1

朱雀

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	中	上 東 和 弥	3	1	1	0	二ゴ		一安	四球		一飛			四球
2	三	佐古田 進太郎	3	0	0	0	一ゴ		投犠	投ゴ			右飛		四球
3	遊	松 川 哲 也	4	1	1	2	中飛		右2		右飛		一飛		四球
4	捕	騎 馬 龍 吾	5	1	1	1		三失	左安		投飛		三ゴ		左飛
5	一	江 上 安 楠	3	0	0	0		投ゴ	二ゴ		捕邪				三振
6	左	坂 井 柊 斗	4	0	0	0		三振	三ゴ			三振			中飛
7	右	池 田 将 太	3	1	1	1		右3		二ゴ		四球			三飛
8	投	木 村 公 紀	3	0	0	0		三振		四球		三振			一ゴ
9	二	堤 玲 雄	3	1	1	1		振逃	一犠		左2				三ゴ
合計			31	5	5	5	残塁:8 併殺:0								

備考

■バッテリー

投手
木 村 公 紀

捕手
騎 馬 龍 吾

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
木 村 公 紀	9	39	4	7	6	0

戸塚

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	中	井 上 健 太	4	0	2	0	右安		投犠		三振		右飛		右安
2	三	吉 田 康 弥	4	0	0	0	左飛		四球		遊ゴ		中飛		一邪
3	二	平 澤 修 人	5	1	1	0	捕邪		左飛			遊安		遊失	三ゴ
4	捕	松 山 学	4	0	0	0	三ゴ		三振			遊ゴ		中飛	
5	一	稲 生 大 樹	3	0	0	0		三振		二失		死球		中飛	
6	左	中 後 隆 司	2	1	0	0		死球		三振		三ゴ		四球	
7	右	高 橋 一 騎	4	0	1	1		投ゴ		三振		捕邪		三安	
8	投	吉 田 李 紅	3	0	0	0		右飛		三飛			死球	二飛	
9	遊	橋 本 悠 大	2	0	0	0			死球		三振		三振		
9	打	ハッカティ デヴィオンテリョウ	1	0	0	0									中飛
合計			32	2	4	1	残塁:10 併殺:0								

備考

■バッテリー

投手
吉 田 李 紅

捕手
松 山 学

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
吉 田 李 紅	9	40	5	6	6	3

■戦評

雨天による一日順延を挟んで神宮球場で行われた準々決勝第4試合は、ここまでの2試合を共にコールドで勝ち上がった横浜市立戸塚高校と2回戦を中盤以降苦しみながらも逃げ切り勝利した京都府立朱雀高校の対戦となった。試合が動いたのは2回。朱雀は敵失で出塁した走者を三塁に置き7番池田の適時三塁打で1点を先制する。続く3回には一死一二塁の好機を作ると3番松川が2点適時二塁打を放ち4番騎馬も適時安打で続きこの回3点を奪い4-0とし試合の主導権を握る。戸塚吉田李、朱雀木村両先発の主戦としての意地がぶつかり合い両チーム次の1点を奪えぬまま試合は進んでいく。朱雀は6回二死一塁から9番堤の適時二塁打で貴重な追加点を上げる。何とかしたい戸塚は8回二死二三塁で7番高橋が適時内野安打を放ち相手の守備が乱れる間に二塁走者も生還し2点を返すと9回表の守備で二死から三者連続四球で満塁のピンチを招くも先発吉田李が踏ん張り無失点で切り抜け最後の攻撃に望みを託す。その裏戸塚は一死から1番井上が安打で出塁するも後続が断たれ試合終了。序盤のリードを守り切った朱雀が5-2で勝利し、準決勝に進出した。一方敗れた戸塚は吉田李が朱雀打線を5安打5失点(自責点3)に抑える粘り強い投球を見せていたが、攻撃陣が10残塁と朱雀先発木村を最後まで攻略できず無念の敗戦となった。